

令和 7 年度  
消防施設（化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型））購入  
仕 様 書

能美市消防本部

# 令和 7 年度 消防施設（化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)）購入 仕様書

## 第 1 章 総 則

この仕様書は、能美市消防本部（以下「発注者」という。）が令和 7 年度において購入する消防施設（化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)）（以下「化学車」という。）のシャシ及び艤装その他これに関する事項について定める。

化学車の概要は、キャブオーバー型消防専用シャシに、A－2 級以上の検定に合格する高圧タービンポンプ、水槽、泡消火薬液槽、消防専用無線電話装置、その他発注者の仕様に基づく艤装及び資器材を積載し、乗車定員は 6 名とする。

化学車の艤装は、十分な強度と精度を有し、製作に使用する全ての材料は「日本工業規格」に基づき精選されたものを使用し、常時、登録された車両重量の状態において十分耐え得るものであることとする。

また、完成車は本仕様書に定めるほか、下記の関係法規等に適合するもので緊急自動車として承認を得たものであることとする。

- 1 国が行う補助の対象となる消防設備の基準（昭和 29 年総理府告示第 487 号）
- 2 緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成 18 年消防消第 49 号）
- 3 動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和 61 年自治省令第 24 号）
- 4 道路運送車両法（昭和 26 年法律第 185 号）
- 5 道路運送車両の保安基準（昭和 26 年運輸省令第 67 号）
- 6 日本自動車車体工業会が定める環境基準
- 7 消防用ホースの技術上の規格を定める省令（平成 25 年総務省令第 22 号）
- 8 消防用ホースに使用する差込式又はねじ式の結合金具及び消防用吸管に使用するねじ式の結合金具の技術上の規格を定める省令（平成 25 年総務省令第 23 号）
- 9 消防用吸管の技術上の規格を定める省令（昭和 61 年自治省令第 25 号）
- 10 その他必要な法令

## 第 2 章 提出書類及び検査等

- 1 受注者は契約締結後、製作に先立ち発注者と艤装仕様について打合せを行い次の書類を 2 部提出して承認を受けるものとする。
  - (1) 艤装外装五面図
  - (2) 車体骨組図
  - (3) 製作工程表
  - (4) ポンプ関係図
  - (5) 水槽図
  - (6) 薬液槽図
  - (7) 配管図
  - (8) 電気配線図
  - (9) 車両諸元明細表
  - (10) その他、発注者の指示するもの

2 完成車両納入時には、下記のものを添付すること。

(1) 付属品	別表
(2) 完成艤装外装五面図	2 部
(3) 受託試験の成績表及び試験済証表（写）	2 部
(4) 取扱説明書（シャシ・ポンプ関係）	2 部
(5) 車両整備要領書	1 部
(6) 各種保証書	1 部
(7) 消防ポンプ自動車改造計算書	2 部
(8) 消防ポンプ自動車改造届出書	2 部
(9) 工程写真（艤装、塗装等）	1 部
(10) その他発注者が指示するもの	必要数

3 完成した化学車は、日本消防検定協会が行う消防ポンプ自動車受託試験及び北陸信越運輸局石川運輸支局が実施する新規検査に、合格したものでなければならない。

#### 4 検査及び試験

- (1) 化学車は、各法規に従い検定及び認定を受けるものとする。
- (2) 製作工程中に艤装、装備及び付属品等の積載取付け状況についての中間検査は必要な時期に実施する。
- (3) 化学車納入時に次の完成検査を行う。
  - ア 車両の寸法検査
  - イ 各装置の機能検査
  - ウ 付属品、積載品の形状、取り付け及び員数検査
  - エ 提出書類等検査
  - オ 環境基準適合ラベルホワイトラベル（日本自動車車体工業会制定）
  - カ その他必要な受入検査

#### 5 技術指導

受注者は、発注者が指定する日時に指導員を派遣し、車両納入後における車両の構造取扱い方法等の技術指導を行うものとする。なお、これに要する費用は受注者の負担とする。

#### 6 その他

- (1) 受注者は、契約に際しては本仕様書を十分検討の上、契約するものとし契約後における一切の疑義は、すべて発注者の解釈に従うものとする。
- (2) 受注者は、製作中に諸種の理由により本仕様書及び承認図等に変更が生じたときは、ただちに発注者に連絡の上、指示を受けて図面で承認を受けなければならない。

- (3) 完成検査において不適格と発注者が認めた箇所については、ただちに無償で取替え又は修理を行うこと。
- (4) 保証期間については、完成車両の納入後1年間（塗装、メッキは2年間）とし、その他の特殊装置及び積載器材等は、各メーカーの保証期間とし、保証期間内に不適合箇所が生じた場合は、無償にて修理又は取替える。ただし保証期間後に設計、工作又は材質の不良及び構造の不適正に起因する不良箇所が生じた場合は無償で修理、取り替えを行うこと。
- (5) 保証期間後の故障等で上記（4）に該当しないものについては、可能な限り迅速な対応をするとともに工期の短縮を図ること。
- (6) 完成車両の自動車登録、車両納入手続き及び費用は、受注者側において負担とする。ただし、自動車損害賠償責任保険料、重量税及びリサイクル費は、発注者が負担とする。
- (7) 旧化学車については、解体し永久抹消登録を行うこととし、これを確認出来る登録事項等証明書および解体前後の写真を提出すること。なお、解体および永久抹消登録にかかる費用については受注者の負担とする。
- (8) この仕様書の細部事項及び製作中に生じた疑義については、すべて発注者と協議とする。
- (9) 化学車の納期は、令和8年3月13日までとする。

### 第3章 シャシ関係

- 1 シャシは、令和7年度に自動車メーカーが公表した最新の排出ガス規制に適合し、メーカー標準取付けが装備された四輪駆動の4ドアダブルキャブ付き消防車専用シャシで、次の仕様を有することとする。

(1) シャシ	消防専用シャシ
(2) ホイルベース	3.7m以上
(3) エンジン	ディーゼルエンジン
(4) 最小回転半径	約6.5m※メーカー公表性能とする。
(5) オルタネーター	90A以上
(6) バッテリー	容量24V-100AH以上
(7) エアコンディショナー	純製品
(8) GPSナビゲーションシステム	純製品
(9) 乗車定員	6名（前席2名、後席4名）
(10) キャブ	キャブオーバー型ダブルキャブ4ドア付
(11) キャブチルト	電動油圧式
(12) ブレーキ	ABS装置付き
(13) ステアリング	パワーステアリング
(14) トランスミッション	自動変速機
(15) タイヤ	スタッドレスタイヤ組替 （予備タイヤ1本含む）

(16) 寒冷地仕様 シヤシメーカー仕様

2 完成車両の主要寸法等（中型免許で運転できること。）

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| (1) 全長               | 7. 5 m以下        |
| (2) 全幅               | 2. 4 m以下        |
| (3) 全高               | 3. 2 m以下        |
| (4) 車両総重量（積載品・付属品含む） | 1 1, 0 0 0 kg未満 |

3 装備品

- |                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| (1) オイルパンヒーター                   | 1 式 |
| (2) オイルクーラー                     | 1 式 |
| (3) 後退警報器                       | 1 式 |
| (4) エンジン回転計                     | 1 式 |
| (5) エンジン油温計                     | 1 式 |
| (6) P T O装置及び時間計                | 1 式 |
| (7) 電動格納式ミラー（助手席側）              | 1 式 |
| (8) 泥除け（全輪）                     | 1 式 |
| (9) バッテリーメインスイッチ（確認灯付・識別テープ貼付け） | 1 式 |
| (10) 各ドア蹴り込み部アルミプロテクター          | 1 式 |
| (11) サンバイザー（運転席及び助手席）           | 1 式 |
| (12) サイドバイザー（各ドア 樹脂製）           | 1 式 |
| (13) ステンレス製ナンバーフレーム（前、後）        | 1 式 |
| (14) 前後牽引用フック（許容荷重 2 t、能力標示）    | 1 式 |
| (15) 燃料タンク（1 0 0 L以上、助手席側）      | 1 式 |
| (16) フロントフォグランプ                 | 1 式 |
| (17) バックアイカメラ（バックミラー型適合品）       | 1 式 |

その他メーカー標準仕様に準じる。※ドライブレコーダーを含む

4 シヤシ艤装

- |                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| (1) 助手席シート 1 名用に改造              | 1 式 |
| (2) 助手席をボストロムシートに改造             | 1 式 |
| (3) 全座席超防汚シート（配色別途指示）           | 1 式 |
| (4) 後部座席後部空気呼吸器固定装置（クイックホルダ）取付け | 3 式 |
| (5) 後部座席後部空気呼吸器面体掛け金具取付け        | 4 式 |
| (6) 後部座席前方ステンレス手摺り              | 1 式 |
| (7) ステンレス製旗立て装置                 | 1 式 |
| (8) キャブドア各近乗降用朱色グリップ            | 1 式 |
| (9) バッテリー引出装置                   | 1 式 |

6 付属品

- |                           |     |
|---------------------------|-----|
| (1) タイヤケーブルチェーン（シングルバンド付） | 1 式 |
| (2) スタッドレスタイヤ（ホイール付）      | 1 式 |
| (3) フロアマット（前、後）           | 1 式 |

(4) 足マット（全席、ゴム製）	1 式
(5) 電源コード（オイルパンヒーター用 1 0 m、マグネット丸型）	1 式
(6) 車両標準工具	1 式

## 第4章 キャブ関係及び艤装

### 1 キャブ内部

- (1) 室内の仕切り手摺棒は、ステンレス製としS字型のフックを10個設ける。  
また、仕切り手摺棒下部空間に収納ラック（アルミ製）を取付ける。
- (2) 前扉フェンダー及び各ドア開口部（下部）は、プロテクター（アルミ縞板張り）を取付ける。
- (3) キャビン内後部座席上部のルーフ部に、薄型LED室内灯（埋込式）を1個設ける。
- (4) フレキシブルLEDマップランプを助手席に設ける。
- (5) キャビン後部に、空気呼吸器取付装置を3基取付ける。
- (6) キャビン後部に、呼吸器を外すことなく出し入れが容易な収納箱を取付ける。
- (7) 後部座席下に収納スペースを設ける。
- (8) 前席中央部に艤装関係スイッチ、サイレンアンプ、無線電話装置、地図入れを備えたセンターコンソールボックスを取付ける。
- (9) 全席超防汚シートとすること。（配色別途指示）

### 2 キャブ外部

- (1) 前後部ナンバーにステンレス製ナンバーフレームを取付ける。
- (2) 車両の前後部に牽引用フック（2 t）を取付けて能力を表示する。
- (3) 乗降用ステップは、隊員の乗降に支障のない段数と幅のもので滑り止めの措置を行う。
- (4) ステップ蹴り込み部、乗降時に接触する部分等にアルミ縞板保護板等を張る。
- (5) 隊員乗降用グリップを乗降に便利な位置に設ける。
- (6) キャブ前部中央部に消防章（約150mm）を取付ける。
- (7) 別途指示する位置に消防ワッペン（支給品）を貼付ける。
- (8) 車載バッテリー
  - ① 積載方法は、点検、取替えが容易に行えるようシャシメーカーが準備する引出装置に、扉付格納ボックスにて管理できる構造とする。
  - ② バッテリー端子部分及び上面に保護ゴムカバーを取付ける。
  - ③ 過充電防止機能付バッテリー充電器を装備し、外部電源引込口はオイルパンの兼用型とする。
- (9) オイルパンヒーター
  - ① シャシメーカー標準のオイルパンヒーターを装備し、外部電源引込口は、右後部ドア下付近に防雨蓋付マグネットコンセント式で車両ドアの開閉に支障がない構造で設ける。
  - ② 外部電源引込口コンセントは、バッテリー充電器と兼用型とし、オイルパン

専用のブレーカーを設け、バッテリー充電を妨げることなく使用できるよう任意に切換えできる構造とする。

(10) キャブはハイルーフとする。

## 第5章 ポンプ関係及び艀装

### 1 水ポンプ

省令による消防規格に基づくA-2級の環境に配慮した高性能の全アルミ製2段バランスタービンポンプを装備する。なお、ポンプ内部は、軽量化されたアルミ製インペラを用いて、耐薬品性能が向上した特殊コーティングを施すことによりポンプ本体の耐久性を向上させたものとする。

### 2 真空ポンプ

- (1) 真空ポンプは、メンテナンスを必要としない完全無給油式の4翼偏心ロータリー式のものとする。
- (2) 真空ポンプ内に水等が入っても性能の低下や故障の原因とならないこと。操作は、押ボタン式スイッチによるものとする。なお、非常用の系統スイッチを別に左右ポンプ操作部へ設ける。
- (3) 駆動装置は円滑に作動し、揚水完了後は自動的に停止とする。動力の伝達は、伝達ロスの少ないギヤ式とし、動力の接断は電磁クラッチによる構造とする。

### 3 化学装置

- (1) 泡消火薬剤混合装置は、自動ポンププロポーショナル方式とし、その流量範囲は500～1,200ℓ/minで、流量に応じて常に適正な混合比を自動で確保することができ、かつ容易に操作できる構造とする。また、外部から直接吸液し混合が可能のように外部吸液口をポンプ室右側に設ける。なお、配管及びコック類はステンレス製とする。原液接液部は、配管及びバルブともステンレス316を使用し、化学装置配管の混合液接液部は、配管及びバルブともステンレス304を使用する。
- (2) 洗浄装置は、自己のタンク水から得た圧力水で、薬液専用管、混合液配管又はその各装置の洗浄が容易にできる構造とする。

### 4 動力伝動装置

- (1) ポンプミッションについては、シャシメーカー純正品を用いること。
- (2) ポンプ本体のドレンコックは、ポンプレバーと連動して開閉する構造とする。電動式の場合は、非常用の電源切断スイッチを設けること。また、ドレンコックの開閉が確認できるパイロットランプ（開：赤点灯 閉：緑点灯）を運転席付近に設ける。

### 5 自動揚水装置

- (1) 揚水を行う為の真空ポンプ操作スイッチと、ポンプ配管図に組み込まれた視認

性のよいモニター（凍結防止対策のため、液晶モニターは不可とする）を左右に設け、ポンプの状態を容易に監視しながら操作ができる構造とする。

（２）真空ポンプ作動後３０秒で揚水完了しない場合は、モニターランプの点滅と同時にブザーで警報を鳴らす構造とする。

（３）放水圧力を一定に保つ圧力制御装置を左右ポンプ操作部へ設ける。

（４）真空ポンプは、スロットルが最低速位置で作動する構造とする。

## ６ 吸水口、吐水口及び中継口

### （１）吸水口

ア ７５mmボールコック（ストレーナー付）をポンプ室両側に各１個設け、吸水口には自在エルボを取付ける。

イ 確認装置付エゼクターをポンプ室左右に設け、左右の吸管から連続吸水が可能な構造とする。

ウ ポンプ室後部の吸水口は、別途指示する横引き吸管巻取り型とする。

### （２）吐水口

ア ６５mmボールコックをポンプ室両側に各２個設ける。

イ パイプ及びボールコック等の排水が完全に行える構造とする。

ウ 吐水口に取付ける媒介金具は、６５mmと６５・４０mmのマルチ型を各２個とする。

### （３）中継口

６５mmボールコック（ストレーナー付）をポンプ室両側に設け、先端に差込式メスの媒介金具（中継圧力調整機能付き）を取付ける。

## ７ 操作機構

（１）ポンプ運転及び揚水操作装置をポンプ室両側に設ける。

ポンプ運転及び揚水操作装置を車両最後部の両側に設ける。

（２）左右操作装置に揚水、放水確認、放水口、中継口、吸水口の作動状況を表示する。

（３）左右に圧力計（透過照明付）、連成計（透過照明付、真空計兼用）、ポンプ回転計、流量計及び右側に流量積算計を設ける。

（４）スロットルハンドルは、左右ポンプ操作面の操作し易い位置に設ける。

（５）スロットル装置は、スロットルハンドル本体に機械的なトルクが発生する安全機能を備え、空回りなどの誤作動によるエンジン回転上昇を抑える構造とする。

スロットルは、ウォームギアを用い、左右共に車体前方側で高速、車体後方側で低速とする。

（６）各操作レバー、バルブコック等の付近にはネームプレートを取付ける。

（７）各配管とも完全に排水できるように、ドレンコックを取付ける。

（８）不凍液を注入するための、カプラ式注入口を設け接続ホースを付属する。

## 8 冷却装置

- (1) 冷却装置は、水冷式としその構造及び内容については省令に適合するもの。
- (2) 冷却水配管については、ギヤケース、補助クーラーの配管を一系統にまとめ、主・副（非常用）の各1個のバルブで操作が行える構造とする。

## 9 電動横引き吸管巻取り装置

- (1) 巻取りドラムに設置した吸管は、左右シャッター内で操作ができる構造とする。
- (2) 引き出す吸管は、車両左右どちらからでも引出し伸張ができる構造とし、車両前方及び後方に引き出す際、シャッターレール等車体に干渉することなく操作ができるステンレス製三方ローラー構造とする。
- (3) 走行中に巻取りドラムが動かないようロック装置を設ける。
- (4) 使用後の吸管巻取りは、電動巻取り方式とする。また、操作員が安全に作業できるように速度は一定で巻取りができ、巻取り操作ボタンを押しているときのみ作動する構造とする。  
巻取り装置の電動モーターは、巻き込み防止として吸管巻取りの上部へカバーを設けて取付けとする。
- (5) 電動巻取り装置の操作スイッチは、操作時のみ巻き取れる押しボタン式とし、取付け位置は、左右ポンプ操作面の巻取り状況を視認できる位置とする。
- (6) ポンプ室後部に設ける横引き吸管巻取り装置は、捻じれにより吸水管の緩みを防止するスイベル機能を有する根元媒介金具を介して呼称75mm以上×10mm吸管を接続する。
- (7) 巻取りした吸管がドラム内で変形及び破損しないよう、防護措置を講ずる。
- (8) 設置する吸管には、消火栓媒介金具（75mmメスネジ×75mm差込メス）を装備し収納する。また、巻取りドラムにマジックバンドで固定できること。
- (9) 消火栓を使用する場合の媒介金具1個（75mm差込オス×65mm差込メス）と、自然吸水時に使用するストカゴ2個（75mm差込オス型）を巻取り装置付近に取付ける。
- (10) 巻取りローラーは、吸管に付着する水等でスリップしないものとする。
- (11) その他、車両製作上の都合等を考慮し、詳細な仕様については別途協議とする。

## 9 水槽

- (1) 容量は、1,500L以上とする。水槽の素材は、車両総重量を大きく軽減することとタンク本体の腐食対策として、軽量樹脂製の角型水槽とする。また、振動、衝撃等により損傷、変形、漏洩、緩み等生じない構造とし、水槽内部に防波板を必要数設ける。
- (2) 水槽上部に点検用マンホール（作業出入可能）を設け、密閉構造とする。また、蓋は容易に開閉でき、点検及び清掃に支障のない構造とする。上部は、作業が容易にできるようアルミ縞板によりフラットな構造とする。
- (3) 水槽両側に補水口（65mmボールコック付町野式、鎖付差込キャップ付）を

設け、配管内に逆流防止装置を取り付けること。また、補水流量を調整できるボールコックを設ける。

- (4) ポンプ室両側に夜間でも容易に識別可能な照明付の水量計を設ける。
- (5) 水槽内の水は、完全吸水できる構造とし、底部には完全排水できるドレンバルブを操作容易な位置に設ける。
- (6) 水槽への自己送水管は、中間に緩衝用ジョイントを使用し、ボールコックを取付けて、車両両側から開閉操作ができるものとする。
- (7) 水槽からの吸水管は、中間に緩衝用ジョイントを使用し、ボールコックを取付けて、車両両側から開閉操作ができるものとする。

## 10 薬液槽

- (1) 薬液槽は、2槽式500Lとする。薬液槽の艤装材料は、車両総重量を大きく軽減することとタンク本体の腐食対策として、PP製の角型薬液槽とする。
- (2) 薬液槽上部には、マンホール式の蓋を設け、内部の点検清掃が容易にできる構造とすること。
- (3) 薬液槽には、注入口、通気管、薬液の取出し口、及び夜間でも確認できる液量計を設け、底部に携行缶に直接排液できる排液口（耐腐食製ホースを使用する構造でも可とする。）を設けること。なお、走行中に漏液しない構造の弁等を設ける。
- (4) 2槽のうち1槽を水槽と導通することにより予備水槽として使用できるバイパスバルブを設ける。

## 第6章 ボディ関係及び艤装

### 1 ボディの艤装

- (1) ボディ形状は、車両総重量を大きく軽減することとボディ本体の腐食対策として、PP製の箱型ボディとし左右3枚、後部1枚のアルミシャッター（引き下ろしベルト付）で構成する。
- (2) シャッター内部は、アンダーコートの下地処理を行い、塗装仕上げとし、ボディ周囲に手摺を設ける。
- (3) ボディ前方下部左側（ポンプ室左エプロン部）は、扉をステップ兼用扉として設け、ホース収納ボックスを1個設ける。
- (4) ボディ後部はシャッター扉付として内部にホースカーを収納し、上部のスペースは収納庫とする。
- (5) 左右シャッター収納庫は、内部スペースを確保し、40mmホース、65mmホース及び資機材が収納できる構造とする。収納棚は可動式の棚板を設ける。
- (6) 各収納スペースは、容易に資機材の載せ替えや付け替えが行えるようにパンチング板等を用いて製作をする。
- (7) シャッター内の積載物については、全て取り出し容易である構造とする。
- (8) ボディ下部の扉兼用のステップは、強固な構造とし、夜間開放時確認できるように蛍光もしくは反射テープを貼付ける。

- (9) ポンプ室は、点検および整備が容易な構造とする。
- (10) 左右及び後部のいずれにおいてもボディ天井部へ昇降できるステップ（ボディ組み込み式または梯子式）を必要数設ける。
- (11) 収納庫及びボックス等内部は、水抜き穴を設けスノコを設置する。また、水はけを十分考慮した構造とする。
- (12) ボディ周辺のステップ及びアルミ縞板の足掛け位置に滑り止めを施す。
- (13) 車輪止め 2 個を車両右側の同一場所に積載し、容易に出し入れ可能であり転落防止措置をする。
- (14) ボディからキャビン後部下までサイドステップを延長すること。サイドステップは、アルミ縞板張りとし、キャビン右下に収納ボックスを設ける。
- (15) 車体上部にアルミ縞鋼板製大型ボックスを、右側壁面に寄せて固定することとし薬液ポリタンクを収納できるサイズを有すること。また、扉は、90度で固定できる構造とする。

## 2 警音装置

### (1) 散光式赤色警光灯

ア キャブ屋根前方に散光式赤色警光灯を取付ける。

また、スイッチはサイレンアンプ連動式とする。

イ フロントグリル上部左右に、赤色点滅灯を各 1 個取付ける。スイッチは、散光式赤色警光灯と連動とする。

ウ 後方上部左右に、赤色点滅灯を各 1 個取付ける。スイッチは、散光式赤色警光灯と連動とする。

エ 側面上部に別途指示する LED 点滅灯を左右各 2 個ずつ設け、散光式警光灯と連動とする。

### (2) モーターサイレン

スイッチは、助手席から操作できる箇所に手押しスイッチを設ける。

### (3) 電子サイレンアンプを前席中央部に設ける。

### (4) 標識灯を左右に取付ける。

### (5) バックアイカメラ・モニターを取付ける。

### (6) 各種スイッチ類（ライトスイッチ連動式照明灯付）は、中央コンソール（専用ボックス）を介して取付ける。なお、車輛外部に設けるスイッチは、防水型とする。

### (7) その他 艀装の電装回路にあっては、十分な許容量のある配線とする。

## 3 照明装置等

### (1) 照明装置

#### ア ポンプ操作盤

左右ポンプ操作部周辺に、夜間でも有効な視認が得られるよう設ける。

#### イ ポンプ・エンジン室内灯

エンジン室内に1灯、ポンプ室内に1灯設ける。

ウ ボックス内照明灯（シャッター部含む）

各ボックス内にシャッター扉と連動式の照明灯を、ボックス内を照らす角度でシャッターレール内側に設ける。また、ボックス内照明灯のメインスイッチをキャブ内の架装関係スイッチボックスに設ける。

エ 照明灯

車体左右及び後部の各1か所に、消防専用LEDサーチライトを設ける。

オ 路肩灯は、左右1か所設けること。

カ 作業灯は、LED灯を車体左右の上部へ各2個及び後部に1個設ける。

キ 照明器具

発動発電機、三脚、コードリール、照明器具及びその他必要な各器具を取りまとめ固定装置を設ける。

#### 4 積載品関係

（1） ホース延長用資機材

ア ホースカーは、65mmホースが10本積載できる加納式電動アシストホースカー（ブレーキあり）とする。

イ ホースカーには、別途指示する資機材固定金具及びホース延長の支障とならないような防水シートを設けること。また、ホースカー蓋は取り外し可能でけん引時には外れない構造とし、落下防止枠を設けること。

（2） ホースカー電動昇降装置

ア 電動展開式昇降装置とする。

イ 通常操作ボタンは、ボディ後部にガード付で設け、非常用操作ボタンを適当な位置に設けること。

ウ 装置作動中は、警報音を鳴らし周囲に注意が促せる構造とする。

エ ホースカーの収納確認灯をキャブ内10連スイッチ部に表示すること。

（3） 三連はしご昇降装置

ア 三連はしごは車体上部に積載し、後方スライド式でダンパー方式の昇降装置により、車体後部から隊員がステップに乗らないで安全かつ容易にはしごの出し入れができるものとする。

イ 後方スライド式昇降装置は、キャブ点検に支障が生じないように折り畳み式とする。

ウ 後方スライド式昇降装置は、三連はしごの飛び跳ね防止、前後部飛び出し防止等の安全機能を備える。

（4） とび口2本を車体へ乗り込むことなく取り出せる位置に取付けること。

（5） 車体上部に脱着式の放水銃を積載する。

（6） 次の資機材を車体に固定金具等により取付ける。

ア 水利部署に必要な資器材

車輪止め、スタンドパイプ、消火栓開閉金具、金てこ等

イ その他必要な資器材

(7) その他の資器材の配置等については、別途打合せにより決定するものとする。

(8) その他

ア ポンプ下のドレン位置は1か所へ集中取り付けし、残水がかからないよう下部まで延長し、ガードを取付ける。

イ 資器材は、シャッター及びボックス内に収納できる構造とし、落下防止のためボディ天井部に網式ゴムネットを取り付けられる構造とする。

ウ 自衛噴霧装置を車体左右に各3か所設ける。

バルブは、ノズルとは対角に設ける。

## 5. 牽引フック等

(1) フロントに2箇所、牽引フック(2トン以上)を設け、使用時にバンパーが支障とならないように、別途協議し設けること。

(2) 車両後部両側に、車両最大牽引能力に耐えられる牽引フック(2トン以上)を、別途協議し設けること。

(3) 車両両側後輪フェンダーに牽引フック(1トン以上)を各2箇所以上取付けること。

(4) 牽引フック及び環フックの最大牽引能力を表示し、牽引フック使用時の脱落防止用の装置を設けること。

## 第7章 消防無線電話装置等

1 消防無線電話装置車載型(車載機、空中線共用器、ハンドセット、スピーカー及びコンバーター等)をキャブ内の指揮者の使用に便利で、かつ、乗降時の支障にならない位置に取付ける。(別途協議)

2 ポンプ操作面左右のシャッター内に埋め込み型のスピーカー及び外部無線通話装置収納箱(扉付きで開閉連動スイッチ付)を設け、箱内にハンドセット及び車両動態位置管理装置外部操作ボタンを取付ける。(別途協議)

3 キャブ屋根に消防無線電話装置のアンテナを取付ける。(別途協議)

## 第8章 塗 装 等

### 1 車体の塗装

(1) ステンレス及びシャッターを除くアルミ以外の金属部分は、すべて塗装またはメッキを施し露出部分がないようにする。

(2) 車体は、特殊化学液で十分に錆を落とし、防錆処理を行った後、プライマーパテ水研き、サフェサーを行い熱風乾燥炉にて十分乾燥させてから、赤色ウレタン塗装又は同等の塗装にて3回以上吹き付け塗装を行い、再び熱風乾燥炉にて乾燥

するものとする。

(3) その他の色を塗装する部分は、素地調整を行った後、上塗りを3回以上行う。

(4) 塗装の色調等は、次の通りとする。

ア 車体外側及びバンパー（関係規程等に支障がある場所等は除く）は朱色

イ 車体下回り及びフェンダー内面は黒色

ウ 各収納庫は、塗装を施すこと。色については別途指示。

(5) メッキ処理を施す部分は、次のとおりとする。ただし、ステンレス鋼及びアルミ材を使用した金具等は除く。

ア 扉の把手、各種保護枠類

イ 積載装置の可動部分、鋼管製手摺及びその止め金具

ウ その他発注者が指示するもの。

(6) 車体下回り（資機材庫等含む）は防錆コーティング処理をする。

(7) 塗装工程写真を撮影し、完成車両納入時に添付する。

## 2 記入文字等

記入文字は丸ゴシック文字とし次の箇所に記入する。

(1) 標識灯

記入文字にあつては別途指示する。

(2) 消防本部表示

キャビンのドアに車体の左側から白色で「能美市消防本部」と記入する。

(3) 対空標示

キャブ上部に白色で記入する。記入文字にあつては別途指示する。

(4) 記号表示

キャブ前部の助手席側に白色で記入する。記入文字にあつては別途指示する。

(5) 高視認性マーキング

車両の視認性向上の為、車体側面の平面部（全周囲）に再起反射材でマーキングすること。詳細については別途指示する。

(6) 防衛省補助表示

車両側面または後部に記入文字またはエンブレムを使用し表示すること。詳細にあつては別途指示する。

## 第9章 その他

1 全般にわたり製作途上において、技術上の理由等によって本仕様により難しい場合は、発注者に申し出て指示を受けるものとする。

2 ゴム製品は、すべて耐油性のある合成ゴムを使用する。

## 第10章 車両・艤装・取付品等

車両・艤装・取付品等

別表

# 1. 取付品及び取付装置

番号	品 名	規格等	数量	備 考
1	ポンプ圧力計	3.5Mpa 透過照明付 水圧式	2 個	ポンプ操作両側面側
2	ポンプ連成計	2Mpa 透過照明付 水圧式	2 個	ポンプ操作両側面側
3	エンジン回転計		1 個	
4	エンジン油温計		1 個	
5	散光式赤色警光灯	L E D	1 式	スピーカー・標識灯
6	前部警光灯	L E D	2 式	フロントパネル バンパー側面
7	側面警光灯	L E D	4 式	車体両側各 2 個
8	後部警光灯	L E D	4 式	車体後部 カットスイッチ付
9	電子サイレン		1 式	
10	室内灯	L E D 警光灯	1 式	
11	マップランプ	L E D 式	1 式	
12	計器灯	L E D 可動式	1 式	
13	路肩灯	L E D	1 式	スモールライト連動
14	エンジン灯		1 式	
15	機能集中スイッチ		1 式	キャブ内
16	バックアイモニター		1 式	ドライブレコーダー付
17	照明灯	L E D 照明装置 NIGHT SCAN CHIEF NE0180W×4 (AC100V) 2 灯 4 灯切り替え仕様	1 式	
18	後退警報器	解除スイッチ付	1 式	
19	標識灯		1 式	

## (2) 軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置

番号	品名	規格等	数値	備 考
1	GPS ナビゲーションシステム	純正		TV 付
2	モーターサイレン		1 式	
3	真空計		2 式	ポンプ操作面両側 (連成計兼用)
4	流量計	100mm	2 式	ポンプ操作面両側
5	積算流量計	100mm	2 式	ポンプ操作面両側
6	キャブチルト装置		1 式	
7	オイルパンヒーター	電源引込口は防水蓋付 マグネット丸形	1 式	
8	不凍液注入装置	カプラー式、キャップ付	1 式	ホース付属
9	自衛噴霧装置	左右各 3 個	1 式	
10	スタッドレスタイヤ	ホイール付 組替	7 本	予備タイヤ 1 本含む
11	車外無線送話機取出し		2 式	

12	バッテリー充電器	ずばら充電器	1 式	キャブ内
----	----------	--------	-----	------

(3) 備えなければならない附属品

番号	品名	規格等	数値	備 考
1	吸管	10m(75mm メス× 75mm 差込メス付き)	1 本	吸管巻取り装置に取付け (サイドプル方式)
2	吸管 (予備)	3m(75mm メス× 75mm 差込メス付き)	3 本	車両上部に積載
3	吸口ストレーナー	75mm	2 個	
4	吸管ストレーナー	75mm オス媒介金具付 プラスチック製	2 個	
5	ワンタッチストレーナー		1 個	
6	吸管まくら木	樹脂製	2 個	
7	吸管ロープ	10mm×10m	2 本	
8	消火栓媒介金具	呼称 75 ネジ雌 ×呼称 65 差込雌	1 個	
9	中継用媒介金具	65mm ネジ雌 ×65mm 差込雌	2 個	
10	消火栓開閉金具	地上式 T 型、消火栓鍵 消火栓スパナ	1 式	
11	吸管スパナ	メーカー仕様	2 個	
12	管そう	65mm プロモデル	2 本	アルミ製
13	ノズル	ダブコンマーク II	2 個	
		YONE フリップチップセ レクタブル 〈21387〉	2 個	40 mm
14	放口媒介金具	呼称 65 mm 雌ネジ× 呼称 65 差込雄	4 個	アルミ製
15	発泡筒先	400L 型	3 本	FNL-65. 400 (2) エアフォームノズル (1)
16	放水銃	YONE PM-4P	1 基	可搬式
17	とび口	1. 8m	2 本	グラスファイバー製
18	金てこ	1, 000mm	1 本	
19	剣先スコップ		1 個	
20	三連梯子	ステンレス製 3 連梯子 KHFL-SIW 87	1 式	搬送用キャスター RFC-075
21	車輪止め	ゴム製 大型	2 個	
22	消火器	自動車用 ABC 粉末消火 器 20 型	1 本	
23	ポンプ工具	メーカー仕様標準	1 式	

24	ホース 65mm×20m		10 本	アラミド製使用圧 1.6MPa
25	ホース 65mm×10mm		3 本	アラミド製使用圧 1.6MPa
26	ホース 40mm×20m		10 本	アラミド製使用圧 1.6MPa
27	可搬式照明器具	LED 式 (FLASH BOY LED-SP II) オプションの三脚付 (コードリール付・ 200W 発動発電機	1 式	取付金具含む 車体後部 (昇降ポール含む) 通 常は車体に装備して、取り外し 三脚としても使用可能であるこ と
28	泡原液	グリーンアルコエース (3-3-6)	1 式	500L

(4) 軽微な変更として備えることができる附属品

番号	品名	規格等	数値	備考
1	タイヤチェーン	シングル バンド付	1 個	1 組
2	双口分岐金具	YONE WB-65MC	2 個	
3	ホースブリッジ	サクラホース ダブルタイヤ SHB-500	2 個	寒冷地用タイプ
4	ワイヤー		1 本	
5	斧		1 式	
6	ホースバンド	ホースバンデージ HB-100 6 個	1 式	
7	スタンドパイプ	PS-65DV	1 個	双口引上げ式

(5) 空気呼吸器、予備ボンベ等

番号	品名	規格等	数値	備考
1	空気呼吸器	ドレーゲル AirBoss NHA グローバル仕様	4 基	面体 FPS7000 4 個
2	予備ボンベ	軽量ボンベ 530CⅢ および保護カバー	4 本	90° バルブ
3	ボストロムシート	助手席、後部座席	4 席	前方に倒せる仕様
4	ボンベ収納ボックス		1 式	

(6) その他附属品

番号	品名	規格等	数値	備考
1	足マット	フロアマット 全席	1 式	

2	泥除け	全輪	1 式	
3	サンバイザー	助手席、運転席	1 式	
4	サイドバイザー	各ドア	4 式	
5	吸管ストレーナー	ちりよけ籠付き	2 個	
6	携帯警報器	Drager Bodyguard 1000	4 個	
7	媒介金具	65 雌・65 雄	2 個	
8	携帯拡声器	かる〜ホン TD-504Y	1 個	メガホン専用ストラップ付
9	水中ライト	ファイヤーバルカン LED 米国防爆	2 個	
10	カラーコーン	簡易規制区域セット 1 式 3 個入	1 個	FS 商品番号 153-239-005 収納袋付
11	フロントフォグランプ		1 式	
12	メインスイッチ	パイロットランプ付	1 式	
13	ナンバーフレーム	ステンレス製	1 式	車両前部
14	牽引用フック	外れ止め付（能力表示付）	1 式	車両前後部
15	乗降用グリップ		1 式	
16	消防章	150mm	1 式	
17	A3 地図入れ		1 式	
18	横引き吸管巻取り装置		1 式	
19	三連梯子昇降装置	手動後方スライド式	1 式	
20	後部座席用手摺パイプ	ステンレス製（フック 5 個）	1 式	
21	超防汚シート	飛鳥車体制 全席	1 式	
22	100V コンセント	キャブ内	1 式	2 口
23	水槽	ポリブレン製又は同等品 1500L	1 式	
24	薬液槽	ポリブレン製 又は SUS316 製 500L	1 式	
25	アルミ縞板		1 式	
26	サイドステップ延長	キャビン下部	1 式	
27	昇降用梯子		1 式	車体後部
28	手摺パイプ	管径 25mm 以上 ステンレス製	1 式	車体側板および前後上部縁
29	シャッターの取付け		1 式	
30	ボックスの取付け		1 式	
31	ボックス内照明灯	L E D	1 式	
32	旗立てスリーブ	訓練旗、ポール付	1 式	ステンレス製
33	マグネットコンセント	コード 10m 以上 （丸形コンセント）	1 式	

34	電動可動ミラー		1 式	
35	無線装置取付け		1 式	
36	アンテナ等本体及び配線 工事		1 式	
37	防錆コーティング		1 式	
38	フック	後部座席の後方 機関操作部（左右）	4 個 2 個	防火衣等をかける用
39	記入文字		1 式	高視認性マーキングを含む
40	風速風向計	消防用・風向風速移動観測 システム SE - FDW201	1 基	屋根上に可動格納式風向風速計 室内に GPS 連動モニター
41	救出器具	ペルツ ピタゴール C060AA00	1 個	
42	破壊器具	エンジンカッター	1 個	スチール ST410 又はハスクバーナ K770
43	破壊器具	レーザーヘッドハリガン 30inch	1 個	
44	集水器	D75S	1 個	ディスクストレーナー (雄媒介)
45	ライト	STRIPELIGHT	2 個	耐衝撃・防爆構造
46	熱画像	FLIR K2	2 個	
47	避難（救助）器具	パラート ドレーゲル	1 個	
48	ラインプロポーショナー	YONE FP-65・400	1 個	
49	ホースカー	YAMAHA X-QUICKER	1 台	電動アシスト
50	ホースバック	SAVERS RS-W-02	2 個	
51	作業灯	L E D	1 式	
52	隊長ベスト	アラミドベスト FV-1	1 着	赤色
53	機関員ベスト	アラミドベスト FV-1	1 着	黒色
54	大型消火器	ABC 粉末消火器 50Kg 可搬式	2 本	
55	署活系無線機	緊急消防援助隊仕様	4 基	
56	CS 収束型 4 輪キャリー	ホースバック	1 個	
57	ホース延長用資機材		1 個	
58	鋼管	機関員操作、計器部	1 式	s 字フックなどかけ、防火衣や ヘルメットをかける用
59	ファイヤーブランケット	YFB-CPX（自動車用）	1 式	